

平成30年度事業計画

資金の運用による果実を事業運営の柱としている当財団にとっては、長期間続く超低金利下での資産運用は誠に厳しい状態にある。こうした厳しい状況下ではあるが、アベノミクス後の円安傾向を受けて、リーマンショック後にクーポンの発生がなかった仕組債の改善が見られ平成29年度の事業は運用収入の改善が見込め、実質収支は前年度に引き続き収支プラスになる見込みである。しかし、資産運用面では最近の円高傾向を受けて比較的高利回りを維持していた債券のクーポン利率の減少が見られ直近のトランプ発言による円高懸念と再投資先のクーポン利率低下により今後の運用収入は厳しい状況が続くものと思われる。

こうした厳しい環境下ではあるが公益財団としての使命を考え、平成30年度事業計画予算は自然科学研究助成(公1)、褒賞(公2)、音楽(公4)は前年どおりとしたが、調査研究(公3)は多少の減額をした。

30年度の事業概要は以下のとおりである。

事業概要

(1) 自然科学研究助成(公1)

① 学術研究助成(第30回松尾学術研究助成)

対象研究分野 原子分子物理学及び量子エレクトロニクスの基礎に関する実験的・理論的研究。

助成対象者 大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者

推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

助成金額 総額 2,200 万円

件数 5～6 件(1 件当たり 200～400 万円)

募集期間 4 月 1 日～7 月 31 日

審査・決定 自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9 月中旬予定)

② 研究集会・国際共同研究の開催及びこれらへの参加に対する助成

対象研究分野 前記学術研究助成の分野

助成対象者 研究集会開催責任者、国際共同研究にあつては代表研究者
海外の国際会議に出席し、対象研究分野の研究論文発表を行う若手研究者

助成費 総額 50 万円(2～3 件)

募集 随時受付

審査・決定 選考委員長の審査を経て、理事長が決定する。

(第3号議案資料)

(2)褒賞(公2)

①松尾財団宅間宏記念学術賞

- 授賞対象者 原子分子物理学と量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者(若手研究者を優先)
- 推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
- 賞金と件数 原則として1件 賞金200万円
- 募集期間 4月1日～7月31日
- 審査・決定 審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

②(堀素夫賞)

- 授賞対象者 確率・統計分野で、特に数理的研究業績が顕著と認められる研究者。
年齢不問
- 推薦者 関係する分野の学識経験者
- 賞金と件数 原則として1件 賞金200万円
- 推薦期間 追って決定
- 審査・決定 追って決定

(3)調査研究(公3)

公3事業の基本は、文化としての自然科学の研究を、自然科学と人文科学の両面性で認識判断する原理的事情を研究考察すること(定款参照)であるが、平成29年には、その基本スタンスにおいて、特筆すべき出来事が起こった。

それは、日本において3年連続した自然科学(物理学)のノーベル賞の受賞が途絶えたのに対して、日系英国人のカズオ・イシグロ氏(父は海洋学者の石黒鎮雄氏、母は長崎被爆者、5歳で渡英)がノーベル文学賞に輝いたことである。

世界の西端で繁栄した英語文化圏と世界の東端に繁栄した日本語文化圏の連関は、ノーベル物理学者のマレー・ゲルマン氏がPNASに示唆したように、グローバル・アーツとしての自然科学の認識判断に欠かせない連関なので、平成30年度は、この事実の検証を中心に様々な角度から研究する。また、セミナーを開催して(平成30年6月予定)、そのワークショップで認識の共有をひろめる。予算は前年度を見直し情報検索調査費180万円のみ計上とする。

(4)音楽助成(公4)

①音楽助成(松尾音楽助成)

優れた若手弦楽四重奏団の育成を目的とする音楽助成で、当財団の特色ある助成として実施する。

(第3号議案資料)

対 象	若手の弦楽四重奏団(平均年齢 35 歳以下)
推薦者	財団の定める音楽大学、管弦楽団、又は財団役員を含む音楽界有識者
助成金額	総額 500 万円(助成期間 1 年)
助成団体	助成団体 2~3 団体
募集期間	4 月 1 日~12 月 27 日
審査・決定	書類選考の後、翌年 1 月オーディションを行い音楽選考委員会の審査を経て、理事会において決定する。

②コンサートの開催

すでに松尾音楽助成を受けた団体の研修成果の発表の場として、一般聴衆を対象とした入場無料のマツオコンサートを開催する。(翌年 1 月、よみうり大手町ホール)

選考委員会

自然科学選考委員会(学術研究助成・褒賞)

委員長	加藤 義章 (光産業創成大学院大学学長)
委員	藪崎 努 (京都大学名誉教授)
	北野 正雄 (京都大学副学長)
	山崎 泰規 (理化学研究所上席研究員)
	渡辺 信一 (電気通信大学教授)
	白田 耕藏 (電気通信大学特任教授)

音楽選考委員会

委員長	岡山 潔 (東京藝術大学名誉教授)
委員	大谷 康子 (東京音楽大学教授)
	川崎 和憲 (東京藝術大学教授)
	澤 和樹 (東京藝術大学学長)
	原田 幸一郎 (桐朋学園大学教授)
	山崎 伸子 (元東京藝術大学教授)

以上

平成30年度収支予算書(事業区別経理)

〈平成30年4月1日～平成31年3月31日〉

(単位:千円)

	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
	自然科学助成	褒賞	調査研究	音楽助成				
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1)経常収益								
①基本財産運用益								
基本財産利息	8,210	1,744	1,704	2,879	607	15,144	15,144	30,288
②特定資産運用益								
特定資産利息	10,324	2,194	2,143	3,619	763	19,043	8,161	27,204
③受取寄付金						0		0
④雑収益					0	0	50	50
経常収益計	18,534	3,938	3,847	6,498	1,370	34,187	23,355	57,542
(2)経常費用								
①事業費								
助成費	22,500			6,200		28,700		28,700
褒賞費		4,000				4,000		4,000
調査研究費			1,800			1,800		1,800
選考費	1,545	652		1,770		3,967		3,967
役員報酬	1,890	770	3,150	770		6,580		6,580
給料手当	484	121		605		1,210		1,210
退職給付費用	396	159	675	195		1,425		1,425
法定福利費					480	480		480
会議費	726	118				844		844
旅費交通費	226	76	118	132		552		552
通信運搬費	178	42	55	113		388		388
消耗什器備品費					15	15		15
事務用消耗品費	18	4	6	12		40		40
印刷製本費	30	6	6	18		60		60
借室費					1,575	1,575		1,575
②管理費								0
役員報酬						0	3,220	3,220
給料手当						0	1,210	1,210
退職給付費用						0	705	705
法定福利費						0	520	520
会議費							850	850
旅費交通費						0	406	406
通信運搬費						0	400	400
消耗什器備品費						0	100	100
事務用消耗品費						0	100	100
印刷製本費						0	450	450
借室費						0	1,575	1,575
図書費						0	150	150
雑費						0	1,000	1,000
経常費用計	27,993	5,948	5,810	9,815	2,070	51,636	10,686	62,322
評価損益等調整前	-9,459	-2,010	-1,963	-3,317	-700	-17,449	12,669	-4,780
基本財産評価損益等								
特定資産評価損益等								
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-9,459	-2,010	-1,963	-3,317	-700	-17,449	12,669	-4,780
2.経常外増減額								0
(1)経常外収益								0
(2)経常外費用								0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減	-9,459	-2,010	-1,963	-3,317	-700	-17,449	12,669	-4,780
II 指定正味財産増減の部						0		0
当期指定正味財産増減額								
III 当期正味財産増減額	-9,459	-2,010	-1,963	-3,317	-700	-17,449	12,669	-4,780